

発表セッション：再生可能エネルギー分野 発表-1

発表者：Dr. A.Amarbayar (モンゴル国立大学)

発表タイトル：「モンゴルにおけるエネルギー転換とニーズ」

キーワード：

活動目標：

背景: 大気汚染は、首都ウランバートルやモンゴルの主要都市に住む人々の健康に大きな影響を与えている。ウランバートルの大気中の年間平均 PM (粒子状物質) 濃度は、モンゴルの大気質基準の 10 ~ 25 倍に達している。特に冬季やゲル地区では、粒子状物質の濃度が高く、心臓病や肺疾患の発生率が増加し、早期死亡の原因につながっている。太陽エネルギー技術は、直接排出することなく、暖房、照明、給湯用のエネルギーを提供する。そのため、これらの技術は大気排出の削減と大気質の改善に役立つ。

全体目標: モンゴルで先進的な再生可能エネルギーとエネルギー効率技術を展開すること。

目的: モンゴル国に先進的な再エネ技術及び省エネ技術を展開する、

研究開発の目的: 高緯度の寒冷地に適した太陽エネルギー技術及び省エネ技術の研究開発を行う。再生エネルギー変換システムの試験、F/S レポートなどに活用する

活動内容：

タスク 1: 太陽熱集熱器の研究開発

タスク 2: PV モジュールとシステムの評価

タスク 3: 太陽エネルギー資源の評価

タスク 4: 先進的な再生可能エネルギーシステム、EE & 省エネの研究開発

活動成果：博士課程学生 3 名 修士課程学生 1 名 非学位取得者 11 名 客員研究員 16 名

協力案：ご相談